

1. 目的

- 地域共生社会における地域密着型サービスの役割を果たしていくための人材を育成する
- 地域密着型サービスとして地域支援の意義と支援の実際を学ぶ
- 地域における事業所間、行政や地域包括支援センター、医療機関、地域住民等との連携を深める機会をつくる
- グループホームができる地域支援の在り方を学び、当協議会の地域貢献の一環とする
- ウィズコロナ、ウィズ災害における地域活動の在り方と可能性、持続可能な地域支援について学ぶ

2. 受講対象者と申込みについて

- ①地域密着型サービス事業所職員及び行政や地域包括支援センター職員等

※できるだけ4回連続で受講することを推奨しますが、1回あるいは2回
のみの受講も可です。

- ②地域共生社会の観点から、福祉系学生や地域住民の同伴による参加も可。

- ③募集定員：各回40名程度 受講料：無料

- ④申込締め切り：2023年1月20日（金）

所定の申込用紙（HPよりダウンロード）に記入の上、メールで申込みし
てください。

- ⑤感染状況に応じて一部の参集型研修を検討しますが、基本的にZoomクラ
ウドミーティングを活用します。

3. 研修構成について

- ①4回シリーズで、2回目を地域密着型サービス担当行政との情報交流会と
合同とする

- ②ワークショップ形式、体験型研修とする

4. 地域支援アドバイザーリモート研修 2022 プログラム

日 程	内 容	趣 旨
1 回目 2023 年 1月 27 日(金) 14:00～ 16:00	ワーク シヨップ 開講式	<p><第 1 回地域支援アドバイザー研修></p> <p>テーマ「 コロナでもできる！地域支援ってどんなもの？」</p> <p>❖サポーター(福田人志さん、森本剛さん、浦幸寛さん、平原由香さん)を交え、実践例を通して一緒に考えます！</p>
2 回目 2月 24 日(金) 14:00～ 16:30	ワーク シヨップ	<p><第2回地域支援アドバイザー研修></p> <p>テーマ「災害からの再生、暮らしの根幹としての地域支援～まび町からの報告」(仮題)</p> <p>❖講演 小規模多機能事業所ぶどうの家まび代表 津田由起子さん(岡山県倉敷市)</p> <p>❖行政と事業所、受講者とのグループトーク</p>
「第16回地域密着型サービス担当行政と事業所のための情報交流会」と合同		
3 回目 2 月～3 月	体験研修	<p><第 3 回地域支援アドバイザー研修></p> <p>❖地域カフェや当事者カフェ、世代間交流などへの参加体験(オンラインまたは直接参加の形式)</p>
4 回目 3月10日(金)	ワーク シヨップ 閉講式	<p><第4回地域支援アドバイザー研修></p> <p>テーマ「 コロナでもやってみたい、こんな地域支援」</p> <p>❖第 1 回のサポーターと一緒にグループワークをします！</p> <p>❖総括</p>

5. 研修前後に、アンケートやレビューの提出があります。

6. 4回全て参加された事業所に、修了証を発行します。

7. 本研修事業運営について

- 1) 本研修は、福岡県地域医療介護総合確保基金による「地域の助け合いと認知症高齢者の生活支援向上のための地域支援アドバイザー育成事業」として、県内地域密着型サービス事業所を対象に、受講者を募り実施するものである
- 2) 本事業の事務局は、NPO法人福岡県高齢者グループホーム協議会事務局におき、当法人事務局が担当する

8. サポーター紹介

氏名	所属	主な地域支援との関り
浦 幸寛	大牟田市認知症地域支援推進員	大牟田市ほっと・あんしんネットワーク模擬訓練、認知症当事者が地域で働く支援（ヤマト運輸のDM 配布）
上坂美紀代	ケアプランセンターうさぎ代表、ケアマネージャー	福岡市城南区「つつみカフェ」 ※体験見学の窓口としてサポートしていただきます。
福田 人志	認知症当事者 認知症サポート耆行の会相談員	認知症サポート耆行の会 認知症当事者交流会「峠の茶屋」（佐世保市） 日本認知症本人ワーキンググループ
森本 剛	看護小規模多機能型居宅介護三丁目の花や管理者	福岡市中央区地域カフェ 「つくって、食べて、話す会」 通称ツクタベ
平原 由香	グループホームさわやかテラス春日、小規模多機能型居宅介護施設さわやか憩いの家春日統括責任者	若年認知症本人・家族交流会 さろ〜ん ちくし野
荻田 哲司	NPO 法人福岡県高齢者グループホーム協議会副理事長	きんしゃい博多（認知症にやさしい地域ネットワーク） キッズサポーター養成講座
大谷るみ子	NPO 法人福岡県高齢者グループホーム協議会理事長	はやめ人情ネットワーク（模擬訓練発祥の地域） 小中学校とのオンライン世代間交流